

第4回 東日本大震災 国際神学シンポジウム

The 4th Great East Japan Earthquake International Theological Symposium

東日本大震災から5周年となる2016年、フラー神学大学院と共に、第4回国際神学シンポジウムを行います。

震災後の支援活動の中、親しみを持って「キリストさん」と呼ばれることがありました。日本人の99%の方々にとっては、私たちキリスト者は教派教団を越えて「キリストさん」であるという、教会外からの視点を念頭に置きつつ、宣教、支援、社会への関わり、教会形成を考えます。大震災を通して私たちは様々な壁を越えて共に働くことを学んできました。これは震災を経験した日本の教会から、世界のキリスト教会に対する貢献でもあります。これからの100年を見据えて、2日目は青年向けの会を持ちます。

Being called “Kirisuto-san” —Re-visiting Christian Identity in Post-disaster Japan

キリストさんと呼ばれて —この時代、この地でキリスト者であること

2016年 2月29日(月)、3月1日(火)

第一日目 2月29日(月)午前10:00～午後5:00 (開場9:30より) 一般教職者・信徒向け

第二日目 3月1日(火)午前10:00～午後4:00 (開場9:30より) 青年、若手の教職・信徒向け
(いずれもどなたでもご参加ください。)

場所:お茶の水クリスチャン・センター 8階チャペルおよび諸会議室

参加費 1日 1,000円 (資料・昼食代を含む)

※学生は1日500円:学生証をご持参ください。

※各日毎に受付にてお支払いください。

申込制 定員 2/29:200名、3/1:100名

下記Webサイトからお申込みください。

<http://drcnet.jp>

申込受付開始:2015年12月16日(水)より

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ E-mail : info@drcnet.jp

Tel : 03-5577-4824

お願い:お電話でのお問い合わせは受付けますが、申込みはお受けいたしません。

DRCnet (災害救援キリスト者連絡会)

千代田区神田駿河台2-1 OCCビル内 DRCnet 事務局

■ **ウィルバート・シェンク Wilbert Shenk**
(フラー神学大学院異文化学研究科、宣教史と現代文化学主任教授)



ゴシェン大学(B.A.)、オレゴン大学大学院(M.A.)、アバディーン大学大学院(Ph.D.)で学ぶ。メノナイト・ボード・オブ・ミッション・海外ミニストリー部長、アソシエイティッド・メノナイト・ビブリカル神学大学院宣教学助教授・ミッション・トレーニングセンター長等を経て現職。著作はNorth American Foreign Missions, 1810-1914: Theology, Theory, and Policy (2004), Enlarging the Story: Perspectives on Writing World Christian History (2002), By Faith They Went Out: Mennonite Missions, 1850-1999 (2000), and Changing Frontiers of Mission (1999)。He was a consulting editor of the Dictionary of Mission Theology: Evangelical Foundations (2007) and the History of the American Society of Missiology, 1973-2013 (2014) 他多数。

■ **吉田 隆 (東北ヘルプ代表・神戸改革派神学校校長)**



横浜生まれ。東北大学、改革派神学研究所、神戸改革派神学校、プリンストン神学校 (Th.M.)、カルヴィン神学校 (Ph.D.) で学ぶ。現在、神戸改革派神学校校長、日本キリスト改革派甲子園教会牧師、仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク (東北ヘルプ) 代表。著書:『東日本大震災と教会～新しい教会像を求めて』(『これからの福祉と教会』いのちのことば社、所収)、『カルヴァンの神学と豊性』(新教出版社)、『新たな一歩を～カルヴァン生誕 500 年記念論集』(共著、キリスト新聞社)、他。訳書: G. E. ラッド『新約聖書と批評学』(いのちのことば社)、『ハイデルベルク信仰問答』(新教出版社)、L. D. ビエルマ他『ハイデルベルク信仰問答入門』(教文館)。

第4回 東日本大震災 国際神学シンポジウム

The 4th Great East Japan Earthquake International Theological Symposium

Being called “Kirisuto-san” — Re-visiting Christian Identity in Post-disaster Japan
キリストさんと呼ばれて — この時代、この地でキリスト者であること

場所:お茶の水クリスチャン・センター 8階チャペルおよび諸会議室

[〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル アクセス: JR御茶ノ水駅、御茶ノ水橋口より2分]

第一日目 2月29日(月) プログラム

[総合司会:小林高德(東京基督教大学学長)]

10:00 開会礼拝

主題講演1:ウィルバート・シェンク(フラー神学大学院教授)

主題講演2:吉田 隆(東北ヘルプ代表・神戸改革派神学校校長)

昼食

パネルディスカッション 司会:藤原淳賀(青山学院大学教授・宗教主任)

パネリスト:加藤 誠(バプテスト連盟前常務理事・大井教会牧師)

小田武彦(聖マリアンナ医科大学特任教授・カトリック大阪教区司祭・日本宣教会理事)

米内宏明(日本バプテスト教会連合理事長)

野田 沢(日本基督教団SCF-学生キリスト教友愛会-主事)

分科会〔東日本大震災から5年を迎えて〕 コーディネーター:品川謙一(日本福音同盟総主事)

※ローマ・カトリック、プロテスタント主流派、福音派などの諸団体、キリスト教主義大学、地域ネットワークなどからの報告を予定。

閉会礼拝:阿久戸光晴(学校法人聖学院理事長・院長、日本基督教団滝野川教会主任牧師)

17:00 終了

第二日目 3月1日(火) プログラム(青年集会)

[総合司会:藤原淳賀(青山学院大学教授・宗教主任)]

10:00 開会礼拝

主題講演とテーブルディスカッション:ウィルバート・シェンク(フラー神学大学院教授)

被災地支援をしている青年たちからの発題

昼食

パネルディスカッション 司会:松本 周(聖学院大学講師・学校法人聖学院キリスト教センター主事)

パネリスト:網中彰子(日本キリスト教協議会[NCCJ]総幹事)

比企敦子(日本キリスト教協議会[NCCJ]教育部主事)

岡村直樹(東京基督教大学教授)

小川 真(キリスト者学生会[KGK]主事)

テーブルディスカッション コーディネーター:藤原淳賀(青山学院大学教授・宗教主任)

閉会礼拝・派遣・励ましの言葉:テゼ式黙想の時(学生キリスト教友愛会[SCF])

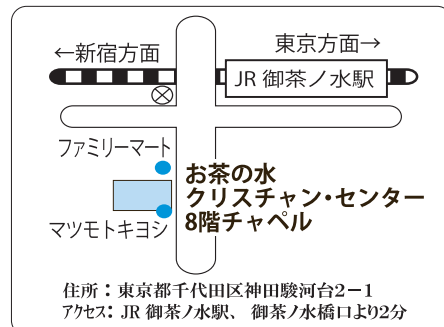
16:00 終了

【前回の協賛、後援団体(一部新規含む)】

【協賛】 青山学院大学宗教主任会、お茶の水クリスチャン・センター、クラッシュ・ジャパン、災害支援緊急援助隊アガペー-CGN、聖学院大学総合研究所、聖学院キリスト教センター、東北ヘルプ、日本キリスト教会神学校、日本基督教団、日本同盟基督教団、日本バプテスト教会連合国分寺バプテスト教会、日本バプテスト同盟、日本バプテスト連盟、日本福音同盟(JEA)、パーパス・トリブun・フェロニシップ・ジャパン、福音主義神学会東部部会、リーベンゼラ日本宣教会

【後援】 青山学院大学総合研究所、いわきCERS ネット、賀川豊彦記念松沢資料館、関東学院大学キリスト教と文化研究所、災害支援緊急援助隊アガペー-CGN、新生宣教会、東京ミッション研究所、日本バプテスト教会連合、日本ローザンヌ委員会、福島県キリスト教連絡会(FCC)、キリスト新聞社、クリスチャン新聞、東日本宣教ネットワーク

【実行委員】 伊藤天雄(東京基督教大学・事務局長)、木下 元(聖学院大学・学術支援部長代行)、榊原 寛(DRCnet 副会長、国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン 理事長[WVJ])、品川謙一(日本福音同盟総主事[JEA])、中台孝雄(DRCnet 会長、日本福音同盟理事長[JEA])、藤原淳賀(青山学院大学教授・宗教主任)、松下瑞子(DRCnet) (全て50音順)



住所: 東京都千代田区神田駿河台2-1
アクセス: JR 御茶ノ水駅、御茶ノ水橋口より2分